

主な用語の解説

1. 事業所数

平成28年6月1日現在の数値である。事業所とは、一般に工場、製作所、製造所あるいは加工所などといわれるような、一区画を占めて主として製造又は加工を行っているものをいう。

2. 従業者数

平成28年6月1日現在数値である。従業者とは、当該事業所で働いている人をい、他の会社などの別経営の事業所から出向又は派遣されている人（受入者）も含まれる。一方、他の会社などの別経営の事業所へ出向又は派遣している人（送出者）、臨時雇用者は含めない。なお、常用労働者とは有給役員、正社員・正職員、パート・アルバイト等及び出向・派遣受入者の合計である。

3. 現金給与総額

平成27年1年間に支払われた「常用雇用者及び有給役員に対する基本給、諸手当と特別に支払われた給与（期末賞与等）の額」とその他の給与額との合計である。その他の給与額とは、「常用雇用者及び有給役員に対する退職金又は解雇予告手当、出向受入者に係る支払額、臨時雇用者に対する給与、送出者に対する負担額など」及び「派遣受入者に係る人材派遣会社への支払額」の合計をいう。

4. 原材料使用額等

平成27年1年間ににおける原材料使用額、燃料使用額、電力使用額、委託生産費、製造等に関連する外注費及び転売した商品の仕入額の合計であり、消費税額を含む。

5. 製造品出荷額等

平成27年1年間ににおける製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額、製造工程から出たくず・廃物の出荷額の合計であり、消費税等内国消費税額を含む。

6. 有形固定資産の額（従業者30人以上の事業所）

平成27年1年間ににおける数値であり、帳簿価額によっている。

ア 有形固定資産の取得額等には、次の区分がある。

(ア)土地

(イ)建物及び構築物（土木設備、建築附属設備を含む）

(ウ)機械及び装置（附属設備を含む）

(エ)その他（船舶、車両、運搬具、耐用年数1年以上の工具、器具、備品等）

イ 建設仮勘定の増加額とは、この勘定の借方に加えられた額であり、減少額とは、この勘定から他の勘定に振り替えられた額をいう。

ウ 有形固定資産の除却額とは、有形固定資産の売却、撤去、滅失及び同一企業に属する他の事業所への引き渡しなどの額をいう。

エ 減価償却額とは、減価償却費として有形固定資産勘定から控除した額、減価償却累計額に当期分として新たに引き当てられた額をいう。

オ 有形固定資産額の計算は以下のとおり。

(ア) 有形固定資産年末現在高＝年初現在高＋取得額－除却額－減価償却額

注：取得額＝土地＋建物及び構築物＋機械及び装置＋その他

(イ) 建設仮勘定の年間増減＝増加額－減少額

(ウ) 有形固定資産投資総額＝取得額＋建設仮勘定の年間増減

7. 在庫額（従業者30人以上の事業所）

事業所の所有に属するものを帳簿価額によって記入したものであり、原材料を他企業に支給して製造される委託生産品も含まれる。

8. 生産額

10人以上 = 製造品出荷額＋加工賃収入額＋（製造品年末在庫額－製造品年初在庫額）＋（半製品及び仕掛品年末価額－半製品及び仕掛品年初価額）

9人以下 = 製造品出荷額＋加工賃収入額

9. 付加価値額（従業者29人以下の事業所については粗付加価値額）

30人以上：甲 = 製造品出荷額等＋（製造品年末在庫額－製造品年初在庫額）
＋（半製品及び仕掛品年末価額－半製品及び仕掛品年初価額）
－原材料使用額等－減価償却額－内国消費税額等

29人以下：乙 = 製造品出荷額等－原材料使用額等－内国消費税額等